

都市基盤

- ◆橋梁長寿命化事業 (1億8,654万9千円)
汐風橋(しおなぎばし)ほか4橋の長寿命化修繕工事を実施するとともに、市が管理する橋梁の定期点検を実施します。
- ◆第一跨線橋対策工事関係事業 (2,638万9千円)
- ◆環境処理センター施設改修事業 (9,300万円)
- ◆パイプライン施設延命化工事 (4,433万円)
- ◆霊園敷地内整備工事 (5,770万1千円)
- ◆鉄道斜面豪雨対策補助事業 (1,875万円)

行政運営

- ◆AIチャットボットの導入 (968万円)
AI(人工知能)の技術を活用したAIチャットボットを導入します。市民の皆さんからのお問い合わせに対して、市ホームページ上で自動応答できるサービスです。

ピックアップ!

- ◆J R 芦屋駅南地区再開発事業 (22億8,160万3千円)
令和4年度は事業用地の取得、建物等の移転に対する補償のほか、J R西日本との工事協定に基づくJ R芦屋駅改良工事等を行い、駅のホーム上にエスカレーターが整備される予定です。



J R 芦屋駅南地区完成イメージ

- ◆街路樹等包括管理業務委託の開始 (4億262万3千円)
街路樹のせん定や道路の清掃などの管理・運営を一括で業務委託します(令和4年度～6年度の3年間)。民間技術力導入による迅速な現場対応、管理業務の向上、複数年業務による事務の効率化等を図ります。



宮川けやき通り

- ◆DX人材育成にかかる神戸市派遣事業 (17万4千円)
- ◆自律的な業務改善組織への変革プロジェクト
- ◆マイナンバーカードによる子育てや介護関係のオンライン手続きを開始
- ◆外部人材の活用、併せて採用業務等の見直し

予算編成 一般会計は429億2,600万円で1.3%の増加

問い合わせ 財政課 ☎38-2011



歳入

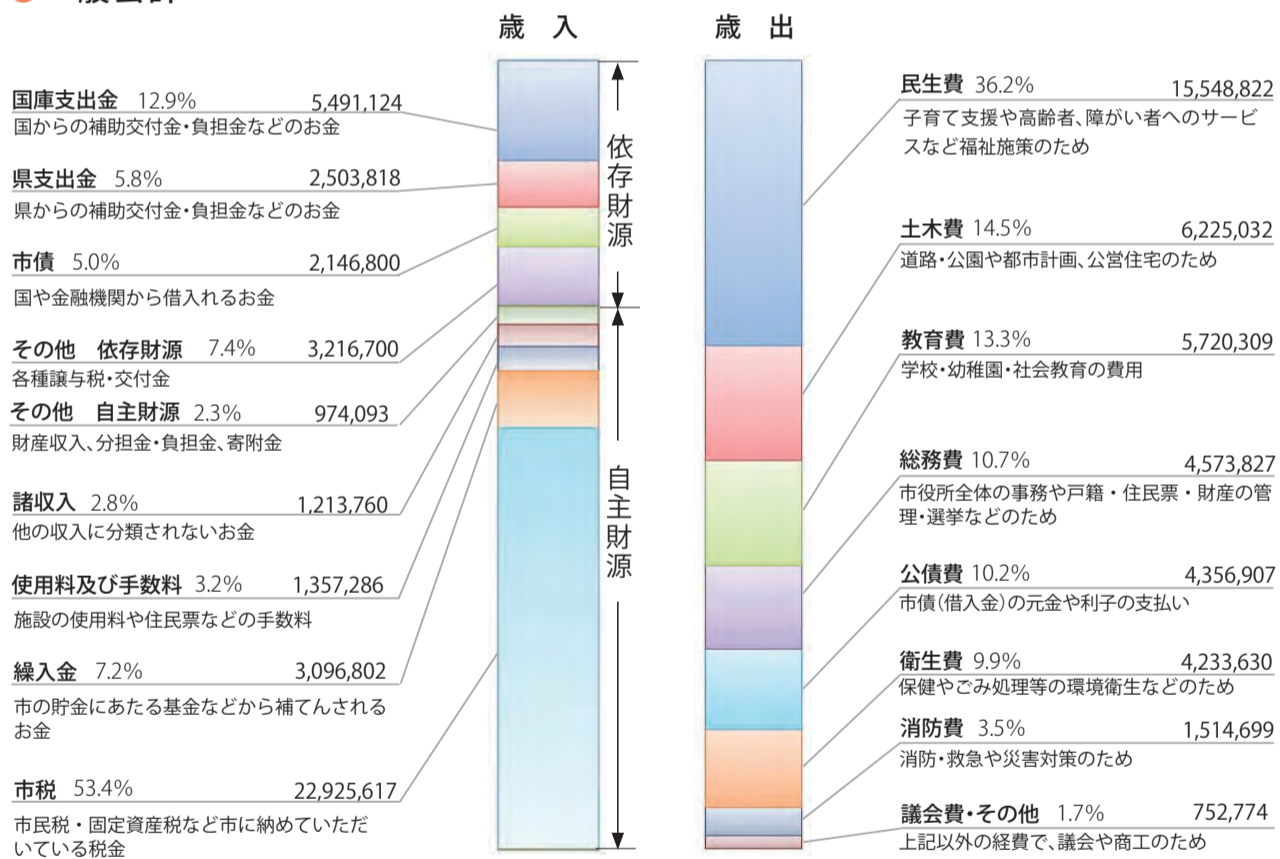
新型コロナウイルス感染症が続く中であっても、景気が持ちこたえており、個人市民税や法人市民税が増加しています。

- 依存財源とは
国や県が関わる収入のことで、補助金や地方交付税・市債などがあります。
- 自主財源とは
地方公共団体が国や県に依存せずに独自に調達できる収入のことで、市税や使用料などです。

歳出

J R芦屋駅南地区再開発事業および美術博物館・谷崎潤一郎記念館改修工事に取り組むため、歳出総額は昨年度より増額しています。

●一般会計(単位:千円)



令和13年度までの財政収支見込み

収支の状況

以下の表は、令和5年度から令和13年度までの、市税などの一般財源額(歳入)と、その一般財源でまかなうべき経費(歳出)、歳入歳出差引額(△の場合は収支不足額)および基金残高の見込みを示したものです。

社会保障関係経費の増加に加え、インフラ施設や公共施設の老朽化対策等が今後も必要となることから、令和13年度までの収支不足額の合計は52億円となる見込みです。この不足額は基金で補てんすることになります。

【収支の見込み(一般財源ベース)】

年度	5	6	7	8	9	10	11	12	13	合計
歳入	285	272	272	294	273	268	269	266	261	-
歳出	286	298	279	296	271	269	267	274	272	-
歳入歳出差引	△1	△26	△7	△2	1	△1	2	△8	△10	△52
基金残高	129	103	95	94	95	94	96	88	78	-

端数調整により歳入歳出差引が一致していない箇所があります。
※基金残高は、新行財政改革の影響額を反映した後の金額です。



これからの財政運営

今回の令和13年度までの長期財政収支見込みでは、基金残高が減少していく傾向が見えます。そのため、今後も働き方改革などによる生産性の向上、市民サービスを考慮した上での民間事業者の活用、既存公共施設の今後のあり方の検討、未利用土地の有効活用・売却、国・県の補助事業を最大限活用することに加え、長期財政収支見込みを次年度以降も更新し、引き続き新行財政改革を進め、不断の努力を続けて安定的な財政運営を図っていきます。